



## 「里山文化ゾーン（未開園区域）」サンクチュアリでオオルリシジミ保護のための野焼きを行いました

平成28年3月29日（火）に本公園（堀金・穂高地区）の「里山文化ゾーン（未開園区域）」のサンクチュアリ（※1）において、オオルリシジミ保護のための野焼きを行いました。

野焼きは、公園内に生息するオオルリシジミ（絶滅危惧Ⅰ類に指定）の卵に寄生する天敵のメアカタマゴ蜂を駆除する目的で、平成23年から毎年この時期に行っており、本年も安曇野オオルリシジミ保護対策会議の助言を得ながら実施しました。

### ◆ 野焼きの状況 ◆



### ◆ オオルリシジミ ◆

オオルリシジミは、開長3～4cmの瑠璃色の羽根を持つ、シジミチョウ科の蝶で、かつては、日本各地で見られたが、現在は長野県の安曇野市、東御市、飯山市、九州阿蘇地方にしか生息しない。環境省のレッドデータブック絶滅危惧Ⅰ類、長野県指定希少野生動植物に指定されている蝶です。

初夏（5月～6月）に蛹から羽化した成虫がクララ（※2）のつぼみに卵を産み、孵化した幼虫は、土の中で蛹となって翌年の初夏を待ちます。卵にメアカタマゴバチが寄生することが個体数減少の一因といわれ、メアカタマゴバチの抑制には、春先の野焼きが有効的とされています。

### あづみの公園のオオルリシジミ



※1 サンクチュアリとは、オオルリシジミの保護育成の場。

※2 クララはマメ科の多年草。オオルリシジミの幼虫は、クララの花とつぼみしか食べない。